

令和3年度アクションプラン

【アクションプラン1】

重点項目	学習指導（うんとかんがえる子・・・知）
重点課題	◆ 活用・探究型授業の実施
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けた知識・技能を活用しながら問題を解決していく力に課題がある。 ・必要な情報を取捨選択したり、解決方法を自分で考えたりしながら問題を粘り強く解決していく力に課題がある。 ・自他の意見や考えを観点に基づいて比較したり、関連付けたりすることに課題がある。
具体目標 数値指数	・学期毎に端末を活用した問題解決的な学習や新聞を活用した学習を実施した学級の割合 100%
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・端末を活用した問題解決的な学習（調べる・まとめる・伝える）や新聞を活用した学習を計画的に実施する。 ・子供たちが「できそう」「挑戦してみたい」「いろいろな方法を知りたい」と思える学習課題を設定する。
外部評価者	学校評議員、保護者
公開の方法	学習参観、学校・学年だより、ホームページ、学年・学級懇談会

【アクションプラン2】

重点項目	生徒指導（なかよくする子・・・徳　きれいなところの子・・・心）
重点課題	◆ 自他を尊重した挨拶や言葉遣いの推進
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信がもてず、自己肯定感の低い子供がいる。 ・自分の考えを発表することに対して苦手意識をもつ子供が多い。 ・相手の立場や気持ちを考えた言動がとれず、トラブルになることがある。
具体目標 数値指数	・相手を認める温かい言葉「あさがおさいた」を広げる時間「あさがおさいたタイム」の毎日の実施率 90%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・「あさがおさいたタイム」を活用して、互いに認め合い、折り合いを付けながら生活をしていく関係を築く学校・学級づくりを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「あさがおさいた」運動の推進（自他のよさを認め合う肯定的な言葉かけの励行） ①・・・ありがとう　②・・・さようなら ③・・・がんばったね　がんばれ ④・・・おはよう　おめでとう　⑤・・・さすがすごいね　さいこう ⑥・・・いいよ　いっしょにしよう　⑦・・・だいじょうぶ　たいへんだね </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと目的を明確にした異学年交流やボランティア等の体験活動を実施し、学年に応じた振り返り活動を行うことで異学年の友達と触れ合うよさを味わう。 ・教育活動全体を通して道徳教育と関連付けて指導する。 ・関わり合いを大切にした授業の実践（自己存在感や共感的な人間関係づくり、自己決定できる場の設定）
外部評価者	学校評議員、保護者
公開の方法	学習参観、学校・学年だより、ホームページ、学年・学級懇談会

【アクションプラン3】

重点項目	保健指導（つよいからだの子・・・体）
重点課題	◆ 心身ともに健康な生活を営もうとする実践的な態度の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・「メディアコントロールデー」以外の日には、ゲームやメディアの利用を長時間している子供がいる。 ・「すこやかチェック」の「早寝・ノーゲーム・省メディア」の項目の点数が年間を通して学期平均 52～64%を推移している。現状として、「早寝」ができていないことが課題である。 ・「とやまゲンキッズ作戦」で「朝からあくびがよく出る・時々出る」と答える子供の割合が 71%と多い。 ・富山大学山田正明先生を招いて学校保健委員会を行ったことで、「メディアコントロールをすることで、自分の脳を守りたい」という子供たちの意識が高まった。自主的に「メディアコントロールデー」を週に2回にしている子供もおり、意識の高まりが見られた。
具体目標 数値指数	・毎週水曜日の「メディアコントロールデー」に、ゲームやメディアとの付き合い方の目当てをもたせて下校させることができた学級の割合 95%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちのゲームやメディアとの関わり方の実態を把握し、課題を見い出す。 ・各学級でゲームやメディアとの付き合い方について考えた取組を代表委員会で話し合い、その取組を掲示する。（例：低学年では「時間を決める」、高学年では「プログラミング等の ICT 活用の紹介をする」など）
外部評価者	学校評議員、保護者
公開の方法	学校・学年だより、PTA広報誌、ホームページ、学年・学級懇談会

※各アクションプランの評価については、下記の評価基準によって達成度を判断し、見直し・改善に努める。

- 【評価基準】
- A：達成し、効果的であった。
 - B：ほぼ達成し、やや効果が見られた。
 - C：達成できず、あまり効果が見られなかった。
 - D：達成できず、逆効果だった。